

結 果 の 要 約

1 産 業

鳥取県の平成 17 年の 15 歳以上就業者数 305,317 人を産業小分類^(注1)別にみると、「農業（農業サービス業を除く）」が 29,746 人（15 歳以上就業者数の 9.7%）と最も多く、次いで「建設業」が 29,070 人（同 9.5%）、「学校教育（専修学校、各種学校を除く）」が 10,352 人（同 3.4%）、「病院」が 9,912 人（同 3.2%）、「電子部品・デバイス製造業」が 7,182 人（同 2.4%）、「老人福祉・介護事業（訪問介護事業を除く）」が 7,109 人（同 2.3%）、「食堂、そば・すし店」が 6,964 人（同 2.3%）、「道路貨物運送業」が 6,804 人（同 2.2%）、「市町村機関」が 5,400 人（同 1.8%）、「児童福祉事業」が 4,870 人（同 1.6%）などとなっている。（表 1）

また、平成 12 年と 17 年の就業者の増減を産業小分類別に比べてみると^(注2)、増加率が最も高いのは「労働者派遣業」の 233.4%増で、次いで「火葬・墓地管理業、冠婚葬祭業」が 111.7%増、「通信機械器具・同関連機械器具製造業」が 100.6%増、「老人福祉・介護事業（訪問介護事業を除く）」が 89.2%増、「民生用電気機械器具製造業」が 63.6%増、「その他の織物・衣服・身の回り品小売業」が 62.8%増、「電気機械器具卸売業」が 51.8%増、「紙製容器製造業」が 41.4%増、「他に分類されない製造業」が 39.7%増、「その他の電気機械器具製造業」が 35.5%増などとなっている。

一方、減少率が最も高いのは「電気通信業」の 62.0%減で、次いで「家具製造業」が 49.2%減、「電子計算機・同附属装置製造業」が 45.5%減、「衣服・その他の繊維製品製造業」が 42.9%減、「電子部品・デバイス製造業」が 39.4%減、「林業」が 38.4%減、「土木建築サービス業」が 32.0%減、「鉄道業」が 31.0%減、「セメント・同製品製造業」及び「呉服・服地・寝具小売業」が 29.9%減などとなっており、産業大分類の「製造業」に含まれる産業が多くなっている。（表 2）

（注 1） 日本標準産業分類（平成 14 年 3 月改訂）の 420 の小分類を国勢調査の集計用に再編成した 228 区分。

（注 2） 平成 12 年、17 年とも就業者数が 500 人未満の区分を除く。

表1 就業者数の多い産業小分類 上位20位 - 鳥取県 (平成17年)

| 順位 | 産業小分類 | 就業者数 (人) | 割合 (%) | 順位 | 産業小分類 | 就業者数 (人) | 割合 (%) |
|----|--------------------------|-------------|-----------|----|------------------------------|-------------|-----------|
| | 15歳以上就業者数 | 305,317 | 100.0 | | | | |
| 1 | 農業(農業サービス業を除く) | 29,746 | 9.7 | 11 | 各種食料品小売業 1) | 4,810 | 1.6 |
| 2 | 建設業 | 29,070 | 9.5 | 12 | 国家公務 | 4,795 | 1.6 |
| 3 | 学校教育 (専修学校, 各種学校を除く) | 10,352 | 3.4 | 13 | 衣服・その他の 繊維製品製造業 2) | 4,746 | 1.6 |
| 4 | 病院 | 9,912 | 3.2 | 14 | 他に分類されない小売業 3) | 4,584 | 1.5 |
| 5 | 電子部品・デバイス製造業 | 7,182 | 2.4 | 15 | 宿泊業 | 4,514 | 1.5 |
| 6 | 老人福祉・介護事業 (訪問介護事業を除く) | 7,109 | 2.3 | 16 | 他に分類されない 事業サービス業 4) | 4,141 | 1.4 |
| 7 | 食堂, そば・すし店 | 6,964 | 2.3 | 17 | 発電用・送電用・配電用・ 産業用電気機械器具製造業 | 4,130 | 1.4 |
| 8 | 道路貨物運送業 | 6,804 | 2.2 | 18 | 都道府県機関 | 4,004 | 1.3 |
| 9 | 市町村機関 | 5,400 | 1.8 | 19 | 自動車小売業 | 3,830 | 1.3 |
| 10 | 児童福祉事業 | 4,870 | 1.6 | 20 | 一般診療所 | 3,821 | 1.3 |

- 1) 食料雑貨店, 販売店(各種食料品を販売するもの)など
 2) 成人男子・女子服製造業, 寝具製造業, 靴下製造業など
 3) 花屋, 中古品小売業など
 4) 包装業, メーリングサービス, シルバー人材センターなど

表2 就業者数の増減率が高い産業小分類 上位10位 - 鳥取県 (平成17年)

| 順位 | 産業小分類 | 就業者数(人) | | 増減率 (%) |
|--------|-------------------------|---------|---------|------------|
| | | 平成17年 | 12年 1) | |
| | 15歳以上就業者数 | 305,317 | 319,849 | -4.5 |
| 増 加 | 1 労働者派遣業 | 2,544 | 763 | 233.4 |
| | 2 火葬・墓地管理業, 冠婚葬祭業 | 635 | 300 | 111.7 |
| | 3 通信機械器具・同関連機械器具製造業 | 1,591 | 793 | 100.6 |
| | 4 老人福祉・介護事業(訪問介護事業を除く) | 7,109 | 3,758 | 89.2 |
| | 5 民生用電気機械器具製造業 2) | 1,715 | 1,048 | 63.6 |
| | 6 その他の織物・衣服・身の回り品小売業 3) | 552 | 339 | 62.8 |
| | 7 電気機械器具卸売業 | 873 | 575 | 51.8 |
| | 8 紙製容器製造業 | 540 | 382 | 41.4 |
| | 9 他に分類されない製造業 4) | 972 | 696 | 39.7 |
| | 10 その他の電気機械器具製造業 5) | 1,420 | 1,048 | 35.5 |
| 減 少 | 1 電気通信業 | 319 | 840 | -62.0 |
| | 2 家具製造業 | 326 | 642 | -49.2 |
| | 3 電子計算機・同附属装置製造業 | 570 | 1,045 | -45.5 |
| | 4 衣服・その他の繊維製品製造業 6) | 4,746 | 8,306 | -42.9 |
| | 5 電子部品・デバイス製造業 | 7,182 | 11,856 | -39.4 |
| | 6 林業 | 503 | 817 | -38.4 |
| | 7 土木建築サービス業 | 2,635 | 3,876 | -32.0 |
| | 8 鉄道業 | 1,182 | 1,712 | -31.0 |
| | 9 セメント・同製品製造業 | 779 | 1,112 | -29.9 |
| | 10 呉服・服地・寝具小売業 | 700 | 998 | -29.9 |

注) 平成12年, 17年とも就業者数が500人未満の区分を除く。

- 1) 日本標準産業分類第11回改訂(平成14年3月)に伴う組替集計結果による。
 さらに一部の産業分類については, 平成17年国勢調査で用いた産業分類に合わせて組替えを行った。
 2) 電子レンジ製造業, 家庭用エアコンディショナ製造業など
 3) 洋品店, 帽子小売業など
 4) 貴金属製品製造業, 自動車用シートベルト製造業など
 5) 蛍光灯製造業, 太陽電池製造業など
 6) 成人男子・女子服製造業, 寝具製造業, 靴下製造業など

2 職 業

鳥取県の平成 17 年の 15 歳以上就業者数 305,317 人を職業小分類^(注1)別にみると、「一般事務員」が 40,062 人(15 歳以上就業者数の 13.1%)と最も多く、次いで「農耕・養蚕作業員」が 28,541 人(同 9.3%)、「販売店員」が 15,861 人(同 5.2%)、「会計事務員」が 11,006 人(同 3.6%)、「電気機械器具組立作業員」が 9,084 人(同 3.0%)、「調理人」が 8,726 人(同 2.9%)、「自動車運転者」が 8,090 人(同 2.6%)、「看護師」及び「商品販売外交員」が 7,032 人(同 2.3%)、「介護職員(治療施設,福祉施設)」が 5,645 人(同 1.8%)などとなっている。(表 3)

また、平成 12 年と 17 年の就業者の増減を職業小分類別に比べてみると^(注2)、増加率が最も高いのは「介護職員(治療施設,福祉施設)」の 97.6%増で、次いで「他に分類されない製造・制作作業員」が 81.5%増、「ホームヘルパー」が 58.3%増、「その他の教員」が 47.6%増、「倉庫作業員」が 46.5%増、「歯科衛生士」が 38.7%増、「他に分類されないサービス職業従事者」が 37.7%増、「薬剤師」が 36.1%増、「清掃員」が 25.8%増、「栄養士」が 17.7%増などとなっている。

一方、減少率が最も高いのは「その他の窯業・土石製品製造作業員」の 55.4%減で、次いで「電子計算機等オペレーター」が 49.4%減、「建設機械運転作業員」が 47.3%減、「ミシン縫製作業員」が 46.1%減、「クレーン・ウインチ運転作業員」が 44.1%減、「板金作業員」が 44.0%減、「建築技術者」が 40.8%減、「その他の衣服・繊維製品製造作業員」が 40.6%減、「土木・測量技術者」が 40.2%減、「会社・団体等管理的職業従事者」が 39.4%減などとなっており、職業大分類の「生産工程・労務作業員」に含まれる産業が多くなっている。(表 4)

(注 1) 日本標準職業分類(平成 9 年 12 月改訂)の 364 の小分類を国勢調査の集計用に再編成した 274 区分。

(注 2) 平成 12 年,17 年とも就業者数が 500 人未満の区分を除く。

表3 就業者数の多い職業小分類 上位20位 - 鳥取県(平成17年)

| 順位 | 職業小分類 | 就業者数 (人) | 割合 (%) | 順位 | 職業小分類 | 就業者数 (人) | 割合 (%) |
|----|----------------------|-------------|-----------|----|-------------------------|-------------|-----------|
| | 15歳以上就業者数 | 305,317 | 100.0 | | | | |
| 1 | 一般事務員 | 40,062 | 13.1 | 11 | 土木作業員 | 4,857 | 1.6 |
| 2 | 農耕・養蚕作業員 | 28,541 | 9.3 | 12 | 飲食物給仕・身の回り世話従事者 | 4,782 | 1.6 |
| 3 | 販売店員 | 15,861 | 5.2 | 13 | 会社役員 | 4,467 | 1.5 |
| 4 | 会計事務員 | 11,006 | 3.6 | 14 | 清掃員 | 4,282 | 1.4 |
| 5 | 電気機械器具組立作業員 | 9,084 | 3.0 | 15 | 配達員 | 4,272 | 1.4 |
| 6 | 調理人 | 8,726 | 2.9 | 16 | 外交員 (商品, 保険, 不動産を除く) | 4,261 | 1.4 |
| 7 | 自動車運転者 | 8,090 | 2.6 | 17 | 他に分類されない 労務作業員 1) | 3,920 | 1.3 |
| 8 | 看護師 | 7,032 | 2.3 | 18 | 小売店主 | 3,650 | 1.2 |
| 8 | 商品販売外交員 | 7,032 | 2.3 | 19 | その他の食料品製造作業員 2) | 3,525 | 1.2 |
| 10 | 介護職員 (治療施設, 福祉施設) | 5,645 | 1.8 | 20 | 大工 | 3,308 | 1.1 |

- 1) 機械掃除員, ゴルフ場芝刈り作業員など
2) 弁当製造作業員, そう菜製造作業員など

表4 就業者数の増加率が高い職業小分類 上位10位 - 鳥取県(平成17年)

| 順位 | 職業小分類 | 就業者数(人) | | 増減率 (%) |
|--------|------------------------|---------|---------|------------|
| | | 平成17年 | 12年 1) | |
| | 15歳以上就業者数 | 305,317 | 319,849 | -4.5 |
| 増 加 | 1 介護職員(治療施設, 福祉施設) | 5,645 | 2,857 | 97.6 |
| | 2 他に分類されない製造・制作作業員 2) | 1,675 | 923 | 81.5 |
| | 3 ホームヘルパー | 1,015 | 641 | 58.3 |
| | 4 その他の教員 3) | 673 | 456 | 47.6 |
| | 5 倉庫作業員 | 930 | 635 | 46.5 |
| | 6 歯科衛生士 | 688 | 496 | 38.7 |
| | 7 他に分類されないサービス職業従事者 4) | 1,228 | 892 | 37.7 |
| | 8 薬剤師 | 935 | 687 | 36.1 |
| | 9 清掃員 | 4,282 | 3,404 | 25.8 |
| | 10 栄養士 | 531 | 451 | 17.7 |
| 減 少 | 1 その他の窯業・土石製品製造作業員 5) | 238 | 534 | -55.4 |
| | 2 電子計算機等オペレーター | 439 | 867 | -49.4 |
| | 3 建設機械運転作業員 | 857 | 1,626 | -47.3 |
| | 4 ミシン縫製作業員 | 2,680 | 4,969 | -46.1 |
| | 5 クレーン・ウインチ運転作業員 | 294 | 526 | -44.1 |
| | 6 板金作業員 | 371 | 662 | -44.0 |
| | 7 建築技術者 | 1,063 | 1,796 | -40.8 |
| | 8 その他の衣服・繊維製品製造作業員 6) | 984 | 1,656 | -40.6 |
| | 9 土木・測量技術者 | 2,391 | 3,996 | -40.2 |
| | 10 会社・団体等管理的職業従事者 | 1,253 | 2,066 | -39.4 |

注) 平成12年, 17年とも就業者数が500人未満の区分を除く。

1) 平成17年の職業分類により組み替えた15歳以上就業者数である。

2) 楽器組立作業員, プラン製造作業員など

3) 英会話学院講師, 職業訓練指導員など

4) 犬・猫の美容師, レンタカー業主など

5) ガラス細工作業員, 研磨紙製造作業員など

6) 帽子製造作業員, 織物製品検査作業員など